

# ふしおっこ日記

令和7年6月18日

## 「つながり給食」

今日は、5年は組で「つながり給食」がありました。「つながり給食」とは、栄養士と調理員が子供たちと一緒に給食を食べる日です。1学級ずつ、順番に回っています。

「子供たちと繋がりたい」という栄養士の思いから始まったことです。子供たちと一緒に給食を食べることで、子供たちが食べやすいもの、苦手なもの等を知ることができ、給食を実施する上で参考になるそうです。また、子供たちからは、給食にかかわっている方を知る、よい機会となっています。「つながり給食」の日は、残飯の量が「0」になったり、減ったりするそうです。やはり、作っていただいた方を目の前にすると、「残さず食べよう」という気持ちが芽生えるのでしょうか。これも、相手を思う気持ちですね。

給食についての子供たちの意見を聞きたいと、アンケートボックスも設置しています。今日も6年生の児童が意見を書いて投入している姿がありました。子供たちの意見を反映しながら作っていただくおいしい給食をこれからも楽しみにしています。

